

地域密着型金融の取組事例

 タイトル 訪問活動強化への取組み JA名 JA前橋市（群馬県）

1 動機 (経緯)	<p>平成24年度より農業メイン強化先への訪問を行っており、農業者のサポート、ニーズの把握、利用率の向上、信頼関係の強化に努めております。</p> <p>また、24年度の訪問活動の取組成果から今後の課題を認識し、次年度に向けて体制を整備に取り組みました。</p>
2 概要	<p>○平成24年度は以下の内容で、訪問活動に取り組みました。</p> <p>(1) 活動目的 充実した訪問活動・推進活動の実施</p> <p>(2) 活動内容 356先のメイン強化先へ月1回を目標に訪問</p> <p>(3) 機構・体制 各支所内で営農経済担当と金融渉外担当から訪問担当者をそれぞれ選出。営農と金融が提携・情報共有して訪問活動を実施。</p> <p>○平成25年度へ向けての体制整備</p> <p>24年度の強化先の選定は、売上高や信用取引実績などの過去の数字上での選定でした。実際に訪問してみると、既に廃業していたり規模を縮小していたり、数値と実態経営が乖離しているケースが多くありました。結果として、訪問内容も金融ニーズの喚起よりも、挨拶や現況調査等の簡易的な訪問活動が多くなってしまったことを踏まえ、次年度へ向けて以下の見直しを行いました。</p> <p>(1) 訪問先の見直し 認定農業者や農業法人については業況を踏まえた上で追加し、昨年の356先から378先へ拡充しました。</p> <p>(2) 訪問間隔の見直し 昨年の一月に1度の訪問から、25年度は四半期に1度以上の訪問を目標とし、訪問回数を減少させる代わりに一回の訪問内容の充実を図ります。</p>
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先にJA職員の顔を覚えてもらえ、信頼関係を構築することができました。 ・相談件数が増加し適時に資金ニーズを把握し対応することができました。 <p>取組実績：【新規実行25件 2億1,700万円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制整備によりJA内も受け身の体制から攻めの体制へ転じつつあります。
4 今後の 予定 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・現況の聞き出しのみに止まらず、金融ニーズを掘り下げ、実績検討会を通じたニーズや情報共有した連携の強化に向けて取り組みます。 ・支所内での営農と金融の連携に加え、本所職員と支所職員で同行訪問するなど本支所間での連携を強化します。 ・資金ニーズをクイックレスポンスで対応できるように徹底します。 ・新たな農業法人を開拓します。